

安心できるスモールJETとは

1. シェルの素材は?

スモールJETは、安いものでは¥5,000前後から、高いものでは¥30,000近くするものまで、様々な種類のものが販売されています。しかしながら、そのシェルの素材は、安いものも高いものも、ほとんどは安価で加工が容易な、熱可塑性樹脂(ABSなど)によって造られています。安全性に優れ、経年変化の少ないヘルメットに用いられる



熱硬化性樹脂(FRP)によるものは、見受けることが少ないのが現状です。

そんな中であって、アライのクラシックSWはもちろんFRP製です。しかもF-1用ヘルメットにも使用されている、通常のファイバーグラスよりも、引張り、圧縮強度とも30%以上高いスーパーファイバーを主原料として使用しています。だから軽量、コンパクトでいながら、安全性高いシェルをお届けできるのです。

2. 規格もしっかり見分けてください。

スモールJETの多くは排気量0.125ℓ超自動二輪車での走行可能と表示して販売しています。日本国内で二輪車乗車用ヘルメットとして販売するには、SG規格をクリアしなければなりません。そのSG規格の排気量0.125ℓ超自動二輪車乗車用ヘルメット基準の主な内容は、耐衝撃性においては旧JIS-B種と同じ、平面アンビルに対し1.7mの高さから2回落下させ、300G(2,940m/s²)以内の衝撃加速度に収めること。また、耐貫通性能に関しては、旧JIS-A種と同じ、ストライカを1mの高さから落下させ、貫通してはならないというような内容です。

クラシックSWが、SG規格の他にクリアしているJIS2000規格は、耐衝撃性に関しては、300G(2,940m/s²)以内の衝撃加速度に収めることは同じですが、平面アンビルに加え、衝撃に対し厳しい半球アンビルが加わり、落下高さも1回目2.5m、2回目1.28mと厳しくなります。耐貫通性能に関しても、ストライカの落下高さが2メートルからと厳しいものになっています。このように、SG規格とJIS2000規格の間には大きな性能の差があるのですが、クラシックSWの耐貫通性は、JIS2000規格より更に厳しいスネル規格と同じ、落下高さ3メートルさえクリアしています。

クラシックSWの価格は¥24,000と、スモールJETの中では高価なものです。高価なものだからこそ、高い安全性能という安心をお届けしています。

(注:SG規格とは消費生活用製品安全法「乗車用ヘルメットの認定基準及び基準確認方法 CPSA 004」のことをさします。)



●モデル名: クラシックSW

- 規格: JIS規格 ●帽体: SFL構造
- カラー: プライトシルバー、白、シャインアイボリー、ファインレッド、プロテインブラック
- サイズ: (55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格: ¥24,000 (税込 ¥25,200)

